

令和5年(2023年)度年間授業計画表

学年	2	科・系	園芸福祉科	単位	3	教科	福祉	科目	社会福祉基礎
使用教材	実教出版 社会福祉基礎 社会福祉基礎学習ノート								
学習目標	①社会福祉の理念と意義を理解し、社会構造やライフスタイルの変化をふまえた新しい福祉社会を実践する態度を育成する。 ②社会福祉の歴史を理解し、現代社会における社会福祉の意義や役割を考える力を身につける。 ③対人援助の技術や多様な社会支援について理解し、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決する力を身につける。								
単元と内容									
1 学期	第1編 社会福祉の理念と意義 第2編 社会福祉の歴史と次代の展望	・進行する少子高齢化と人口減少の中で、社会福祉が担う役割を理解する。 ・日本国憲法13条及び25条に基づいた現代の福祉理念を十分に理解する。 ・日本の福祉事業の歴史と今後の目指す姿を考察する。							
2 学期	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	・我が国の社会保障制度の意義、役割、範囲を理解し、社会保障給付の内訳に関する推移について考える。 ・各制度の調べ学習をし、それをまとめて発表する。発表をすることや発表を聞くことで更に理解を深める。 ・ベッドメイキングや車いす操作などの実習を行い、基本的な技術を身に着ける。							
3 学期	第4編 人間関係とコミュニケーション 第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	・言語、非言語、情報機器などを活用した様々なコミュニケーションの仕方を学ぶ。 ・人間関係を構築するための傾聴、受容、共感の姿勢について学ぶ。 ・地域福祉活動(例:ボランティア、社会福祉協議会、NPO法人など)の広がりについて、各自の居住地の実情を調査し、レポートにまとめる。							
評価									
評価の観点		評価の趣旨							
①	知識・技能	社会福祉の実践において必要な知識について体系的、系統的に理解しているとともに、関連した技術を身につけている。							
②	思考・判断・表現	社会福祉の展開に関する諸問題を発見し、支援者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。							
③	主体的に学習に取り組む態度	健全で持続可能な社会を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体かつ協働的に取り組む態度を身につけている。							
評価方法	①	②	③	年間時数					
	ペーパーテスト 実習への取り組み、定着 学習ノート	学習ノート ペーパーテスト レポートの内容、発表の仕方	振り返りシート 各種レポートへの取り組み 授業の取組(発言・態度)	予定					
				105					
			1単位=35H						
置賜農業 育てる能力	健康 自己肯定感 主体性 生命 他者理解 協調性 生きる力 知識技能 地域づくり 実践奉仕 社会貢献								